

社会福祉法人中部盲導犬協会

平成 27 年度 事業報告書

1. 基本方針

利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った盲導犬の育成および介護サービスを適切に提供することにより、利用者がその有する能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう努めた。

また、法人内事業所の基本的あり方や今後の事業展開を検討し、サービスの質・専門性の向上および法人としてあるべき姿を具現化し、地域福祉に貢献するよう努めた。

2. 重点目標

(1) 利用者本位の福祉サービス

1) 専門性豊かな人材の育成

①研修会等に積極的に参加し、職員の専門性および実践力の向上を図った。

②盲導犬訓練士、歩行指導員の資格取得試験を受験した。

2) 地域関連機関等との連携

他の法人や事業所等と連携した利用者支援を実施した。

(2) 法人の将来構想について

地域社会および利用者のニーズに対応するため、また中部盲導犬協会の発展と永続のために新たな事業の展開を図った。

3. 事業計画

I. 法人

(1) 新規事業整備

当協会の事業開始から40年以上が経過し、盲導犬利用者の高齢化や障害の重度化等により新たな支援が求められていることから、以下の事業を検討した。

1) 名古屋市内に障害者総合支援法による居宅介護（ホームヘルプ）事業所

- を設置し、静岡市内にも居宅介護事業所の設置準備をした。
- 2) 高齢化した際に盲導犬及び家族同様のペット犬と一緒に入居可能な生活施設（特別養護老人ホーム）の建設申請準備をした。
 - 3) 名古屋市内に障害者総合支援法による生活介護（デイサービス）事業用地の取得を努力したが該当適地無し

Ⅱ. 盲導犬育成事業（盲導犬総合訓練センター）

- (1) 盲導犬の育成強化 ……別紙 1
愛知県、名古屋市、三重県、岐阜県等の助成により、盲導犬 8 頭を育成貸与した。
- (2) 飼育費の支給
月額 4,800 円を上限として当協会から貸与している愛知県、名古屋市内の盲導犬使用者に対し補助した。
- (3) 盲導犬訓練士等の養成
盲導犬訓練士・盲導犬歩行指導員資格取得を目指し、学科試験を受験した。
- (4) 盲導犬に適する繁殖と子犬の作出の研究事業
諸外国と国内の盲導犬協会との相互協力により人工受精などによる繁殖の研究を行い盲導犬に適する仔犬の確立を図り、I F T、B C L テストを実施するために、A G B N（アジア・ガイドドック・ブリーディング・ネットワーク）に専門員として出向参加した。
繁殖センターの運用を図り、優秀な子犬の育成に努めた。
- (5) 生活支援事業 ……別紙 2
視覚障害者リハビリテーションを実施した。
- (6) 普及啓発事業 ……別紙 3

<目標>

- ◎視覚障害者および一般市民に対して、身体障害者補助犬である盲導犬の役割を知らせた。
- ◎一般社団法人中部盲導犬協会支援センターと連携した。
 - 1) 盲導犬のデモンストレーションの実施
視覚障害者団体等に盲導犬貸与についての説明や体験歩行などを実施し、盲導犬貸与の促進を図った。
 - 2) 宿泊体験
視覚障害者の盲導犬に対する、知識を深めるために宿泊体験会を実施した。
 - 3) チャリティー

当協会主催のチャリティーバザー、チャリティーゴルフ大会を実施した。

4) 見学会の開催

個人や団体に対し、盲導犬への正しい理解と接し方などを啓発した。

5) 動物フェスティバルを、はじめ各種イベントに参加して、盲導犬の理解を深めると共に動物愛護についての啓発を実施した。

6) 講師派遣

小・中学校、高校などへ出向き、総合学習などの授業を通して盲導犬への理解を深めた。

7) パンフレットの製作

盲導犬事業に対して幅広い市民の理解と協力が得られるように、パンフレットを視覚障害者関係団体や見学者等に配布した。

8) 協会ホームページの活用

インターネットの内容の充実を図り、盲導犬に対する理解と支援の輪を広げた。

9) 機関誌「ニューハーネス」の発行

協会事業の周知と情報開示を図った。

(7) 職員研修会の実施

全国盲導犬施設連合会の研修をはじめ障害者関連の施設や盲導犬訓練施設など他協会にも派遣し職員の資質向上を図った。

また、日本身体障害者補助犬学会、東海点字研究会に参加した。

(8) ボランティアの強化

当盲導犬協会のボランティア活動に関心がある団体等を対象にボランティア講習会を開催し、ボランティア参加希望者の確保を図り、動物フェスティバル、学校での盲導犬実演などボランティア活動に積極的に参加いただき、各種活動の強化を図った。また、高校生サマーボランティアや中学生ボランティア体験を受入れボランティアの裾野を広げた。

(9) 運営基盤の強化安定

1) 盲導犬育成の支援団体の拡大

各法人、団体、組合、学校等からより多くのご支援が得られるよう努めた。

2) 会費会員について

法人・個人に盲導犬育成事業についての理解を深めた。

3) リサイクル活動の促進

・書き損じハガキの回収運動

書き損じハガキを回収して運営資金や通信費として活用した。

・アルミ缶回収運動

アルミ缶回収運動の輪を広げ、盲導犬育成に役立てた。

(10) 連携事業

- 1) 一般社団法人中部盲導犬支援センターとの連携強化
1名の職員を出向させた。
- 2) あけびの会との連携
盲導犬使用者と友の会の協力により、ハイキング・慰霊祭・研修会等を実施ユーザーとのコミュニケーションを図り、ユーザーの立場に視点をおいた事業の推進を図った。
全国盲導犬使用者の会・三重大会に職員を派遣した。
- 3) 豊田東名ライオンズクラブ「中部盲導犬協会後援会」の協賛事業
豊田東名ライオンズクラブを中心とした後援会の協賛事業としての、盲導犬チャリティーゴルフ大会、球技大会での募金活動協力、パピーウォーカーへの子犬の委託などの支援に応えるため、この事業推進に努力した。
- 4) 全国盲導犬施設連合会との連帯
連合会が実施する事業に、協力した。
- 5) 愛知視覚障害者援護促進協議会との連携
視覚障害者援護講習会等に講師派遣するとともに共催講習会も実施した。

Ⅲ. 居宅介護、移動支援事業 新規事業

《訪問介護事業所サーブ（名古屋）、訪問事業所サファイア（静岡）》

- (1) 居宅介護、移動支援事業 ……別紙 4
 - 1) 職員の資質向上
有資格の職員の採用に努め、専門性のある事業所作りに努めた。
 - 2) サービスの質の向上
毎月ケアサービス会議を実施し、利用者ニーズに対応した福祉サービスの提供に努めた。

以上

盲導犬育成報告(平成28年3月31日現在)

別紙1

	ハッピー ウォーカー委託中	基本訓練	誘導訓練	訓練終了
1			→	三重県貸与
2			→	宮崎県貸与
3			→	キャリアチェンジ
4			→	キャリアチェンジ
5			→	キャリアチェンジ
6			→	愛知県貸与
7			→	キャリアチェンジ
8		→		キャリアチェンジ
9			→	キャリアチェンジ
10			→	キャリアチェンジ
11			→	キャリアチェンジ
12			→	キャリアチェンジ
13			→	PR犬
14			→	キャリアチェンジ
15			→	愛知県貸与
16			→	キャリアチェンジ
17			→	繁殖犬
18			→	愛知県貸与
19			→	キャリアチェンジ
20			→	キャリアチェンジ
21			→	キャリアチェンジ
22			→	岐阜県貸与
23			→	キャリアチェンジ
24			→	キャリアチェンジ
25			→	キャリアチェンジ
26			→	キャリアチェンジ
27			→	キャリアチェンジ

	ハッピー ウォーカー委託中	基本訓練	誘導訓練	訓練終了
28			→	キャリアチェンジ
29			→	キャリアチェンジ
30			→	キャリアチェンジ
31			→	キャリアチェンジ
32		→		繁殖犬
33		→		繁殖犬
34			→	自販連貸与
35			→	キャリアチェンジ
36			→	訓練中
37			→	キャリアチェンジ
38			→	訓練中
39			→	訓練中
40			→	訓練中
41			→	キャリアチェンジ
42			→	訓練中
43			→	訓練中
44			→	岡山県貸与
45			→	訓練中
46			→	訓練中
47			→	訓練中
48			→	キャリアチェンジ
49			→	訓練中
50			→	訓練中
51			→	訓練中
52			→	訓練中
53			→	訓練中
54			→	訓練中
55			→	訓練中
56			→	訓練中

	パピー ウォーカー委託中	基本訓練	誘導訓練	訓練終了
57		→		訓練中
58		→		訓練中
59		→		訓練中
60		→		訓練中
61		→		訓練中
62		→		訓練中
63		→		訓練中
64		→		訓練中
【平成27年度協会所有犬】		盲導犬	57頭	
		訓練犬	25頭	
		繁殖犬	18頭	
		PR犬	3頭	
		パピーウォーカー委託中	43頭	
			合計	146頭
【平成27年度盲導犬貸与】		愛知県	3頭	
		三重県	1頭	
		岐阜県	2頭	
		宮崎県	1頭	
		岡山県	1頭	
			合計	8頭
キャリアチェンジ犬				27頭

繁殖事業報告

1、交配

件数 8件

2、出産

件数 8件
産子数 43頭（内、他協会への分配有り）

3、パピーウォーカー関連

委託 34家庭
しつけ教室 38回開催

4、繁殖犬の引退と導入

- ・繁殖雌犬 1頭引退。
- ・繁殖犬雄雌各 1頭 合計 2頭を導入。
- ・現在、繁殖雄犬 8頭（内、AGBN 委託犬 2頭）と繁殖雌犬 10頭（内、AGBN 委託犬 2頭）で合計 18頭を所有。

生活支援事業報告

事業名	内容
リハビリテーション	<p>1)日常生活訓練室(アートルーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月～金、10時～15時(土日祝日休み) 3月末～4月初旬、8月中旬、年末年始 1～2週間の休み ・活動内容 点字訓練、編物・縫い物 ・出席簿、日誌の記入 ・利用者個々の活動及び作業記録の記入 ・定期的な清掃及び年末の清掃 ・備品整理 ・ゴミの分別 ・施錠 ・木曜日は「ふれあいサロンスマイル」(視覚障害者のパソコン勉強会グループ)が利用 <p>2)見学者対応・相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間3名程度 当訓練室の利用、視覚障害者の便利グッズや他施設の紹介(情報提供) <p>3)点字触読訓練 32回</p> <p>方法：協会内、マンツーマン、訓練費は無料</p> <p>4)拡大読書器等展示・相談会(2ヶ月に1回程度)7回</p>
啓発・普及・講師出向	<p>5)見学会(生活支援担当が関わったもの) 22回</p> <p>6)講師出向(学校・企業・団体)13回</p> <p>7)ボランティア養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あけびの会学生サポーター(訓練指導部内で連携) <p>8)企業・大学生・高校生の受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ ・ボランティア <p>9)東海点字研究会 6回</p>
図書室	<p>10)各種図書・雑誌(墨字・点字・CD・カセットテープ・DVD)の整理と管理(総務部と連携)</p>
公文書(点訳)	<p>11)公文書(点訳) 26件</p> <p>12)職員の名刺、年賀はがきへの点字打ち</p>

普及啓発事業報告

事業名	内容・実施数
講師派遣	小・中学校、高校などへ出向き、盲導犬の授業を行う。(60～90分) 盲導犬への正しい理解と街中で出会った際の接し方などを啓発する。 啓発人数 4,898名 (55件) 講師料総額 ¥829,289
見学会	4階大ホールにて個人・団体に向けて実施。定員100名。 盲導犬への正しい理解と接し方などを啓発する。 啓発人数 1,700名 参加費総額 ¥369,700
イベント	各種イベントやお祭り、ショッピングモール等で 募金活動・チャリティーグッズ販売・デモンストレーション等を実施し、盲導犬の正しい理解を呼びかける。 119件
※支援センターと連帯 普及活動	街頭普及活動 (名鉄百貨店前、イオンみなと店、東山公園前、大須商店、他) 316回
友の会	*ボランティア育成 132名 新規 20名 *チャリティーバザー 売り上げ 392,021円
会員	特別会員 32名(内、新規会員：4名) 普通会員 272名(内、新規会員：35名)
ボランティア養成	あけびの会・学生ボランティア講習会 生活支援連携 高校生夏期サマーボランティア受入 中学生ボランティア体験受入
自動販売機	新規設置：5台 継続設置：39台 計44台
学会・研修会	日本身体障害者補助犬学会、連合会『盲導犬情報』年2回程度
機関誌「ニューハーネス」	3,500部 (墨字版)、65部(音声ファイル版)

居宅介護・移動支援事業報告

障害者総合支援法における障害福祉サービスの「介護給付」支給決定を受けた利用者宅にホームヘルパーが訪問し、介護や家事等の生活全般にわたる援助並びに外出時における指導中の介護を実施した。

名古屋地区

1.事業所名

訪問介護事業所サーブ

2.場所

名古屋市港区川間町1丁目238番地の2^楼グランドヒルズ 則武1号室

3.指定年月日

2015年12月1日

4.指定機関

名古屋市

5.対象者

- ・身体障害者
- ・知的障害者
- ・精神障害者
- ・難病等

6.従事者

専従 4名(介護福祉士)
非専従 1名(ホームヘルプ二級)

7.事業内容

- ・居宅介護
- ・重度訪問介護
- ・同行援護
- ・移動支援

8.利用者状況

(1)契約者

4名(男性2名・女性2名)

(2)障害程度区分

区分6(4名)

(3)利用状況

※回数・訪問回数時間数・サービス提供時間

月	身体介護		利用者数
	回数	時間数	
H27.12	110回	167 時間	4人
H28.1	117回	178 時間	4人
2	120回	187.5時間	4人
3	128回	196.5時間	4人
年度計	475回	729 時間	16人

月	重度訪問介護		利用者数
	回数	時間数	
H27.12	56回	154 時間	4人
H28.1	64回	192 時間	4人
2	64回	187.5時間	4人
3	72回	211 時間	4人
年度計	256回	744.5時間	16人

9.研修等

- (1) 港区障害者自立支援事業者連絡会への参加
 - (2) 社内研修の実施
- 苦情への対応について考える。

静岡地区

1.事業所名

訪問事業所サフィー

2.場所

静岡市清水区蒲原3丁目14-1 2階

3.指定年月日

2016年1月1日(事業開始4月1日)

4.指定機関

静岡市

5.対象者

- ・身体障害者
- ・知的障害者
- ・精神障害者
- ・難病等

6.従事者

専従 2名(看護師・ホームヘルプ2級)
非専従 3名(ホームヘルプ2級)

7.事業内容

- ・居宅介護
- ・重度訪問介護
- ・移動支援